

2023年度 町田市病院事業会計決算概要

1 決算の概況

○ 2023年度の病院事業会計決算は、総収益が138億4500万円、総費用が147億4400万円となり、8億9900万円の純損失となった。

損益計算書(概要) (単位:百万円)(税抜)

	2023年度	2022年度	対前年比
総収益 A	13,845	14,609	▲ 763
経常収益 C	13,729	14,491	▲ 762
医業収益 E	12,215	11,118	1,097
医業外収益	1,514	3,373	▲ 1,859
特別利益 G	116	117	▲ 1
総費用 B	14,744	14,417	327
経常費用 D	14,604	14,274	330
医業費用 F	13,846	13,507	338
医業外費用	759	767	▲ 8
特別損失 H	140	143	▲ 3
医業収支 E-F	▲ 1,630	▲ 2,389	759
経常収支 C-D	▲ 875	217	▲ 1,092
特別損益 G-H	▲ 24	▲ 26	2
総収支 A-B	▲ 899	192	▲ 1,091

入院の状況

	2023年度	2022年度	対前年比
入院収益(百万円)	8,116	7,514	602
入院患者数(人)	113,497	105,914	7,583
平均在院日数(日)	10.5	10.5	0.0
診療単価(円)	71,505	70,940	565
病床利用率(%)	70.7	64.9	5.8

外来の状況

	2023年度	2022年度	対前年比
外来収益(百万円)	3,112	2,948	164
延外来患者数(人)	230,990	237,585	▲ 6,595
一日平均患者数(人)	950.6	977.7	▲ 27.1
診療単価(円)	13,473	12,410	1,063

※表内の数値は端数を持っているため、合計が一致しない場合があります。

2 収益の状況

・新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ」という。)の5類移行に伴い、コロナ患者専用としていた南9階病棟において、一般患者の受入れ再開や2023年5月に開設したHCUによる救急患者の受入れの円滑化などに伴い、入院収益は6億200万円、外来収益は1億6400万円増加した。一方で、新型コロナ関連補助金の減額に伴い、医業外収益が18億5900万円減少した。

総収益(概要) (単位:百万円)(税抜)

	2023年度	2022年度	対前年比
医業収益	12,215	11,118	1,097
入院収益	8,116	7,514	602
外来収益	3,112	2,948	164
負担金交付金	685	388	297
その他医業収益	303	268	35
医業外収益	1,514	3,373	▲ 1,859
受取利息配当金	2	1	0
国庫補助金	10	10	1
都補助金	805	2,180	▲ 1,374
負担金交付金	415	712	▲ 297
長期前受金戻入	140	124	15
その他医業外収益	142	347	▲ 205
特別利益	116	117	▲ 1
総収益	13,845	14,609	▲ 763

3 費用の状況

・給与費は、特殊勤務手当(コロナ対応)が減少する一方で、給与改定等に伴う給料の増額等により、2200万円増加した。
 ・材料費は、新型コロナ5類移行時に専用病床の一般病床への変更などに伴う入院患者の増等より、2億1900万円増加した。
 ・経費は、前年度の原油価格高騰による光熱費から減額となった一方で、委託料の増額により、前年度と同程度となった。
 ・減価償却費は、2022年度の手術支援ロボット(ダヴィンチ)購入等により、5900万円増加した。

総費用(概要) (単位:百万円)(税抜)

	2023年度	2022年度	対前年比
医業費用	13,846	13,507	338
給与費	7,801	7,779	22
材料費	2,652	2,433	219
経費	2,227	2,224	3
減価償却費	1,082	1,022	59
資産減耗費	58	27	31
研究研修費	26	21	4
医業外費用	759	767	▲ 8
特別損失	140	143	▲ 3
総費用	14,744	14,417	327

主な増減要因 (単位:百万円)(税抜)

患者数の増加
単価の増加
救急医療にかかる実繰入額の増額
コロナ関連補助金の減少
基礎年金拠出金公的負担にかかる実繰入額の減額
コロナ関連収益の減少

主な増減要因 (単位:%)

	2023年度	2022年度	対前年比
給与費対医業収益比率	67.7	72.5	▲ 4.8
薬品費対医業収益比率	13.8	13.1	0.7
診療材料費対医業収益比率	8.5	8.8	▲ 0.3

4 資本的収支の状況

資本的収支 (単位:百万円)(税込)

	2023年度	2022年度	対前年比
資本的収入	215	714	▲ 499
企業債	0	392	▲ 392
都補助金	85	82	3
国庫補助金	129	44	85
他会計補助金負担金交付金	1	196	▲ 195
資本的支出	1,602	1,649	▲ 46
建設改良費	502	883	▲ 381
企業債償還金	1,100	766	334
資本的収支	▲ 1,387	▲ 935	▲ 452

主な建設改良費 (単位:百万円)(税込)

超電導磁石式全身用MR装置購入	181
電動リモートコントロールベッド購入	36
体外式結石破碎装置購入	22
白内障・硝子体手術装置購入	18
自動染色装置購入	17
iNetSecシステム導入	16

5 資産及び負債資本の状況

貸借対照表(概要) (単位:百万円)(税抜)

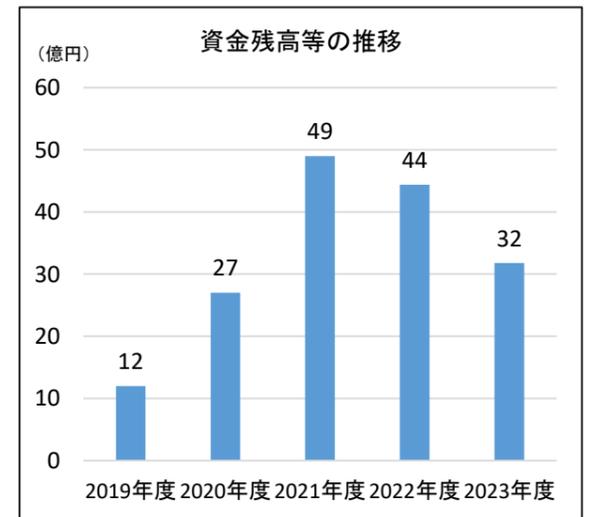
	2023年度	2022年度	対前年比		2023年度	2022年度	対前年比
土地	1,472	1,472	0	企業債	7,879	9,073	▲ 1,194
建物	6,602	7,164	▲ 562	リース債務	1	6	▲ 5
器械備品	2,397	2,520	▲ 123	退職給付引当金	2,778	2,646	132
車両運搬具	1	1	0	固定負債計	10,658	11,725	▲ 1,067
リース資産	5	10	▲ 5	企業債	1,194	1,100	94
建設仮勘定	18	16	2	リース債務	5	5	0
電話加入権	3	3	0	未払金	1,048	1,211	▲ 163
敷金	2	2	0	預り金	58	60	▲ 1
投資有価証券	200	200	0	引当金	505	470	35
固定資産計	10,702	11,388	▲ 687	前受金	0	0	0
現金預金	2,977	4,236	▲ 1,259	流動負債計	2,810	2,845	▲ 35
未収金	2,078	2,082	▲ 4	繰延収益計	846	796	50
貸倒引当金	▲ 5	▲ 5	▲ 1	負債合計	14,314	15,367	▲ 1,053
貯蔵品	45	46	▲ 1	資本金計	4,305	4,305	0
前払金	2	2	0	剰余金計	▲ 2,820	▲ 1,921	▲ 899
流動資産計	5,097	6,362	▲ 1,265	資本合計	1,484	2,383	▲ 899
資産合計	15,799	17,750	▲ 1,952	負債資本合計	15,799	17,750	▲ 1,952

6 資金残高の推移

・コロナの5類移行に伴い、南棟9階病床の再開などによる入院収益等が増額した一方で、コロナ関連補助金の減少等により、資金残高は前年度比で12億5900万円減少した。

キャッシュ・フロー計算書(間接法)

	2023年度	2022年度	対前年比
1 業務活動によるCF	83	375	▲ 292
2 投資活動によるCF	▲ 237	▲ 576	339
主な項目			
有形固定資産の取得による支出	▲ 452	▲ 798	346
補助金等による収入	214	126	88
3 財務活動によるCF	▲ 1,105	▲ 379	▲ 726
主な項目			
企業債借入収入(建設改良費等財源)	0	392	▲ 392
企業債償還支出(建設改良費等財源)	▲ 1,100	▲ 766	▲ 334
資金増加額	▲ 1,259	▲ 580	▲ 679
資金期首残高	4,236	4,816	▲ 580
資金期末残高	2,977	4,236	▲ 1,259



※ 資金残高等は、現金預金に譲渡性預金と有価証券を加えたものである。
 ※ 2021年度の資金残高等には、電子カルテシステム他更新事業等の企業債発行に伴う資金13.5億円が含まれている。